

## <玉ねぎクッキング>

今年もたくさん収穫できた玉ねぎです。収穫した後、早速、ゆりぐみがクッキングをしておいしさを味わい、家庭にも持ち帰って家でもいろいろな調理方法で食べました。事務所前に貼っている、各ご家庭のクッキングシートの様子を見ているといろいろな食べ方があったり、子どもたちの楽しそうな様子が見られたりしていますね。ゆりぐみは、その中で気になった調理方法をクラスでもやってみようという計画中のようです。また、昨年好評だった、オニオンリングを事務所で作ってみんなで食べたり、給食の材料に使って食べたりと玉ねぎをたくさん味わっています。もう少し残っているので自分たちで育て、収穫した玉ねぎを最後まで食べていきたいと思います。



## <感触遊びを大切に>

『多様な素材に豊かに触れられる』『自分の動きかけで素材が変化する』ことの楽しさを味わい、汚れることを気にしないで心をとき放って『皮膚感覚や運動感覚を総動員して思う存分遊ぶ』経験をしてほしいと願い、感触遊びをしています。読んだ本の中で感触遊びをすることの構造が人間関係を構築していく営みに通じるように思えてなりませんと書かれていました。どういうことかという、もの（感触）と関わりながらその感触が心地よかったり、ちょっと苦手かもと感じたりする。様々な感触を受け入れ、それと付き合っていく（活動していく）。人との関わりも様々な感覚（感触）の人と日々付き合いながら生活をしています。感触遊びをしながら人間付き合いと同じことをしていて、感触が苦手な子どもも繰り返して一緒に遊んでいく中で感覚（感触）を受け入れ、折り合いをつけ、いい関係になる日が来るのです。乳児期から感触遊びを行い、たくさんの物や素材に触れてきた子どもは刺激をたくさん受け好奇心旺盛になり、新しいことへ挑戦しようとする気持ちも育ちます。また、感触遊びが好きな子どもは偏食になりにくいとも言われています。



感触遊びも含め、子どものいろいろな成長には遊びが中心にあるという大切さを改めて感じています。感触遊びをすると洗濯物が多くなり、保護者の方には申し訳ないですが『汚れは宝』とさせていただき、洗濯よろしくをお願いします。

## <平和の千羽鶴>

先日、ゆりぐみがプラネタリウム観覧後に平和公園へ行き、こども園を代表して平和公園へ千羽鶴を寄贈してくれました。子どもたちが折ったものと各ご家庭で折っていただいた千羽鶴になります。

折り鶴のご協力ありがとうございました。



## <お礼>

保護者懇談ではお忙しい時間の中、ご参加いただきありがとうございました。短い時間ではありましたが担任とお子さまのいろいろな姿等を共有できました。今後も保育参観やクラス懇談、保護者懇談等で子どもの姿や様子をご家庭と共有、話ができる機会を作っていけたらと考えていますのでよろしくお願いいたします。